

皆様

平成 25 年 12 月 5 日

本日、フィリピンのセブ島を出発し、レイテ島に到着しました。

オルモックの町は、強風で大きな被害を受けており、ヤシの林がすべて途中で折れている所があり、ほとんどの家が強風の被害を受けています。鉄筋コンクリートの家も、地震が多いためか、軽量の屋根を載せる例が多く、ほとんどの屋根が飛んでいます。

タクロバンの空港では、空港職員の「建物の 2 階の空調室外機のところまで水に沈んだ」との証言に基づいて測量を行い、浸水高さ 5.03m（潮位補正済み）となりました。場所は N11°13.659'、E125°1.564'です。

続いてタクロバン市庁舎の海側斜面で測量し、遡上高 6.21m（潮位補正済み、場所は N11°14.589'、E125°0.555'）となりました。

これらは高潮としてはかなり高い値だと思いますので、明日からは周辺での高さも計測しようと思います。

ところで、われわれの調査隊には、デラサール大学准教授の Dr. Mario De Leon が参加しています。彼は鹿児島大学の西先生の指導で博士号を取得した日本留学組です。大変に活躍していて、私は彼の活躍に感服していますので、もし西先生がこれをお読みでしたら、彼を誉めてあげてください。

柴山知也（調査隊長）